

授業科目名： 日本史 I	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 堀川 徹 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 高等学校の地理歴史科の教員を目指す者が、日本史（原始・古代から中世）を多角的に学び、基礎的な知識及び知識を得るための方法論を修得する。 【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・原始・古代から中世までの日本史の大まかな流れを説明できる。 ・日本史（原始・古代から中世）に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・日本列島のみならず、周辺地域との関連のなかで日本史（原始・古代から中世）を理解し、説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。 			
授業の概要 日本史（原始・古代から中世）について、周辺地域との関りに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。			
授業計画 第1回：原始からヤマト政権へ—テキスト①1章～3章— 第2回：5世紀・6世紀の東アジアと倭国—テキスト①4章・5章— 第3回：律令国家の形成—テキスト①6章・7章— 第4回：奈良時代の中央と地方—テキスト①8章・9章— 第5回：遣唐使と天平文化—テキスト①10章・11章— 第6回：平安京の時代—テキスト①12章～14章— 第7回：摂関政治と東アジア—テキスト①15章～17章— 第8回：地方政治の変容と院政—テキスト①18章～20章— 第9回：中世の日本—テキスト②1章・2章— 第10回：中世の武士・朝廷・宗教—テキスト②3章～5章— 第11回：北条氏の時代と新たな仏教—テキスト②6章～8章— 第12回：鎌倉幕府の滅亡と南北朝時代—テキスト②9章～11章— 第13回：室町殿と守護大名—テキスト②12章・13章— 第14回：中世の村落と戦国時代の開幕—テキスト②14章～16章— 第15回：戦国大名と地域社会—テキスト②17章・18章— 定期試験			
スクーリングでの学修 スクーリングでは第3回、第12回を中心に、7世紀および13世紀の歴史について概観する。そのほか歴史学そのものについて解説する。			
テキスト ①佐藤信編（2016）『大学の日本史 1.古代』山川出版社、978-4-634-60031-7 ②五味文彦編（2016）『大学の日本史 2.中世』山川出版社、978-4-634-60032-4			
参考書・参考資料等 岩波新書 シリーズ日本古代史（全6冊） 岩波新書 シリーズ日本中世史（全4冊） ちくま新書 歴史講義シリーズ			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			